

令和8年3月2日

保護者 様

今治市立日吉中学校長 村上 達哉

学校評価の集計結果について

春暖の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動につきまして、何かとご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度学期末に2回、生徒・保護者の方々にお願いしました学校評価の集計結果ができましたのでお知らせいたします。この評価結果を基に、職員会・学校運営協議会を実施し、より良い学校づくりのために検討を行いました。結果は以下になりました。生徒がより良い学校生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指していこうと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

1 学校の教育目標の達成状況（概要）

重点目標と具現策に関する評価結果 ※2学期末の実施結果の平均

（ア：そう思う、イ：ややそう思う、ウ：あまりそう思わない、エ：そう思わない）

(1) よく学ぶ生徒の育成

ア 授業の工夫・改善に努める

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	授業改善	33%	63%	4%	0%
生徒	分かりやすい授業	72%	26%	2%	0%
	授業内容を理解	36%	47%	12%	5%
保護者	授業内容を理解	18%	56%	22%	4%

イ 学習規律・習慣を身に付けさせる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	学習基盤の確立	52%	48%	0%	0%
生徒	「日吉学問のすすめ」の活用	61%	30%	7%	2%
	「Aノート」への取組	43%	38%	15%	4%
保護者	「日吉学問のすすめ」の活用	25%	47%	23%	5%
	「Aノート」への取組	28%	48%	20%	4%

ウ 言語能力を育てる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	言語活動の充実	26%	67%	7%	0%
生徒	積極的な話し合い・発表	33%	40%	20%	7%
保護者	意見を持ち、家族や友だちに伝える	33%	53%	13%	1%

(2) 思いやりのある生徒の育成

ア 道德教育を充実する

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	道德教育に体験活動を関連付けて生かす	19%	59%	19%	3%
生徒	思いやりの気持ちを持って、友だちと協力して学校生活を送る	62%	34%	3%	1%
保護者	友だちに思いやりを持って接する	53%	46%	1%	0%

イ 自他の命を大切にする

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	人権・同和教育の研究と実践	30%	59%	11%	0%
生徒	自他の命を大切にした行動	66%	27%	6%	1%
保護者	自他の命を守り、大切にする言動	54%	41%	5%	0%

ウ 福祉・ボランティア活動に取り組む

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	福祉・ボランティア教育の推進	44%	56%	0%	0%
生徒	奉仕活動やボランティア活動に積極的に参加	17%	14%	33%	36%
保護者	奉仕活動やボランティア活動に積極的に参加	16%	36%	38%	10%

(3) 心身ともにたくましい生徒の育成

ア 温かい心を育てる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	コミュニケーションを通して、温かい心の育成	59%	37%	4%	0%
生徒	コミュニケーションを通して、より良い人間関係をつくる	55%	39%	5%	1%
保護者	友だちや先生とより良い人間関係をつくる	42%	53%	4%	1%

イ 健やかな体をつくる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	体育的・文化的活動の充実	56%	41%	3%	0%
生徒	部活動や体育的行事等に積極的に参加	68%	27%	4%	1%
保護者	部活動や体育的行事等に積極的に参加	53%	43%	3%	1%

ウ 規範意識を育てる

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	社会性を育て、規範意識の定着	59%	41%	0%	0%
生徒	学校のきまりを守り、社会のルールを身に付ける	64%	31%	4%	1%
保護者	学校のきまりを守り、社会のルールを身に付ける	44%	49%	7%	0%

(4) 業務改善

	評価項目	ア	イ	ウ	エ
教員	生活の質を高め、効果的な教育活動に努める	48%	44%	8%	0%

2 主な取組の課題と改善

(1) よく学ぶ生徒の育成

教員が日々の授業改善を行った結果、生徒が分かりやすいと感じる授業を行うことができた。しかし、授業内容が理解できていないと回答している生徒や、心配している保護者が2割程度いる。各教科で生徒の状況を把握し、更に分かりやすい授業づくりに努めていく必要がある。また、「日吉学問のすすめ」や「Aノート」(自主学習ノート)による学習習慣づくりを行った。さらに、学習活動に言語活動を取り入れ、自分の考えを表現したり、友人の考えを聞いたりする時間を設けた。学力向上のためには、学習習慣の定着、根拠を基に自分の考えを表現する力の育成が必要である。今後も学校全体で組織的な学力向上を図っていく。

(2) 思いやりのある生徒の育成

多くの生徒が、思いやりを持って学校生活を送れている反面、自他の生命を大切にできていないという生徒が若干名いるということに危機感を持って教育活動に当たっていく必要がある。ボランティア活動については、生徒の自己評価が教員や保護者に比べて低い。しかし、地域のボランティア活動へ意欲的に参加する生徒や、地域の清掃活動に進んで参加する生徒もあり、地域からお褒めの言葉をいただくこともある。引き続き、ボランティア活動を奨励していきたい。

(3) 心身ともにたくましい生徒の育成

教職員・生徒・保護者共に評価が高い。しかし、一部に否定的な回答もある。保護者から、教職員の生徒への対応について意見をいただいたこともある。いただいた意見は教職員で共有し、保護者や生徒の目線を大切にしたい指導を心掛けるよう共通理解を図った。規範意識については、一部の生徒の公共施設での振舞いが課題となっている。今後も指導を継続し、社会のルールを身に付けた生徒を育成していく必要がある。

3 その他

(1) 学校関係者による評価委員会の意見

- スマホをうまく活用することで、学校で困っているいくつかの問題は解決する。F C 今治高校のように、活用する方法を教える時代かもしれない。
- 学校評価で保護者からの意見があるが、先生方がそこまで対応しなければいけないのかと疑問が残る。先生方は自信を持って教育活動を行ってほしい。
- 学校に行くと、日吉中学校の職員室には若い先生が多い。気持ちの良い挨拶をしてくれる。こういう学校の雰囲気だからこそいい教育ができるのだと感じる。続けてほしい。
- 公民館では本の貸し出し等も行っている。もっと利用してほしい。

(2) 保護者の意見の一部 (⇒回答・お願い)

○ 学習面について

- ・ 日吉のテスト期間のワークの量が多いようです。真剣な悩みで…提出期限を長めにしていたけると大変ありがたいです。テスト前のワークなど、もう少し前からやるように指導をして欲しい。
- ・ テスト期間中に昼から家に帰る事がありますが、家に帰っても勉強はしないので、強制的に学校で自主勉強でもさせてほしい。
- ・ 勉強が苦手な生徒の学習の定着のため、各授業の小テストを頻繁に行ってほしい。
- ・ 毎日、英・数・国どれかで必ず宿題を出していただいてもいいかと思います。(翌日の提出を含む) 塾に行っていないので宿題の量(家庭学習量)が小学生の時より減った印象です。

⇒ 保護者の皆様が、お子様の学習について悩まれていることが伝わってきます。私たち教職員も一人一人の生徒がどのようにすれば学力が向上するかについて日々悩み、取り組んでいます。同じ課題を出しても、生徒によって負担が大きかったり小さかったりします。将来の進路実現に向けては家庭での学習習慣が必要です。学校の課題が少ないとお考えのご家庭は、これを機会にお子様と進路について話し合ってください、お子様に合った取組をご家庭で追加していただけたらと思います。本校では家庭学習習慣を身に付けさせるため、「Aノート」という自主学習ノートを活用する課題を毎日出しています。こちらを活用していただき、それぞれに合った学習を進めることも一つの方法です。また、ワークやテストなどの扱いについては、早目に連絡をしたり、課題を行う期間を十分に確保したりすることを職員会で確認しました。

○ 校則について

- ・ 髪型なんですがツーブロックは良いんですか？10歳違う兄が同じ日吉中学校でしたが髪型に厳しかったのにどうなっているのかなと思っています。
 - ・ 学校ではペットボトル飲料が認められてないので夏場など2つ、3つ水筒を持参しました。お茶が無くなった時に入れることが出来るしペットボトル飲料がなぜ駄目なのかと疑問でした。
- ⇒ 髪型については、市内の県立高等学校の校則に準じて定めています。いろいろな考え方があるのですが、多くの生徒が市内の高等学校に進学している現状から、いつでも「入学試験に行ける髪型」と指導しています。学校運営協議会でも、校則で決まっていることで、非行やトラブルから「守られている」面もあるというご意見をいただきました。義務教育段階の中学生はルールの中で生活することを身に付けることも必要だというご意見もいただいております。今後も生徒の安全や進路実現を優先的に考えながら指導していきます。また、ペットボトルについては、ごみの問題等もあるため持ち込みを遠慮していただいております。近年、本校の校則は、靴下の色や新しいポロシャツの検討など、生徒主体で考えさせながら変更しています。今後も現在の生徒の状況に合わない校則があれば、生徒主体の活動で考えさせていきます。

○ 学校生活について

- ・ 教科書等の荷物が重くて、毎朝びっくりします。もう少しなんとかならないでしょうか？成

長期なので不安です。

⇒ 各学年で教科担任に確認し、学校に置いていてもかまわないものを伝えています。また、かばんも新しいものを追加導入し、少しでも通学しやすくなるように改善する予定です。

- ・ 教育とは関係ないかもしれませんが、運動部の後、大荷物を持って毎日へとへとで歩いて帰る姿が可哀想なので自転車通学は学校から 1 キロ超えたら OK にしてほしいです。自転車通学の範囲ギリギリの場所なので猛暑の中真っ赤な顔で帰宅する姿が可哀想だし、他のお子さんと女の子が真っ赤な顔で帰宅する姿が可哀想に見えます。学校から 1 キロを超えたスポーツの部活の子だけ OK とかももう少し規則が緩くなればと思いますが、簡単にはそうならないのはわかっているので親目線の眩きです。部活から帰ってまたすぐ塾に向かうので猛暑の時期は可哀想です。

⇒ 本校の自転車置き場では、現在以上の自転車を置くことは難しいです。また、自転車通学が増えるということは、自転車による交通事故も懸念されます。現在の状況では自転車通学生を増やすことはできません。ご理解ください。

いただいたご意見やご指摘を真摯に受け止め、次年度の重点目標や具現策、取組に反映することで、更に信頼される、魅力ある学校づくりに努めていきたいと思えます。ご協力ありがとうございます。